

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金		担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策室		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度(開始)・平成24年度(終了予定)		担当課室	地域就労支援室		地域就労支援室長 金田 弘幸		
会計区分	一般会計		施策名	II-1-3 高齢者、障害者若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	重点施策実施5か年計画(平成19年12月25日障害者施策推進本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	精神障害者及び発達障害者の特性を踏まえ一定の期間をかけて段階的に就業時間を延長しながら、常用雇用への移行を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	精神障害者及び発達障害者は就業が可能であっても、直ちには雇用保険の被保険者の適用となる週20時間以上働くことが困難な者が多く、また事業主側にとっても一定程度の期間をかけて精神障害者の特性を理解する必要がある。このため、精神障害者の障害特性に応じた支援策として、1週間の就業時間10時間以上20時間未満の短時間就業から始め、1年間程度かけて20時間以上の就業を目指すことを目的に、週20時間未満の短時間就業を実施する事業主に対して、当該期間中、対象障害者1人当たり月2万5千円を支給する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	203	212	199	123	81	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	203	212	199	123	81		
	執行額	34	59	58				
執行率(%)	17%	28%	29%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	ステップアップ雇用期間が終了した者のうち常用雇用へ移行した者の率		成果実績	%	45.5%	45.2%	42.0%	60%
			達成度	%	76%	75%	70%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	ステップアップ雇用を開始した者		活動実績 (当初見込み)	人	330	341 (840)	326 (680)	— (550)
			算出根拠	平成23年度執行額 58百万円/実績326人				
単位当たりコスト	177,914(円/人)							
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	助成金	123	81	類似奨励金との統合に伴い、廃止したことによる削減(平成25年度は経過措置分のみ計上)				
計								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、広く国民ニーズ及び優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業は、国が行う職業紹介や雇用対策(障害者の雇用率達成指導)と一体的に実施しているものであるため、本事業の実施については、国が実施する方が効率的かつ効果的である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	予定していた利用者数を実績が下回ったことにより、執行額が予算額を下回ったため。
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	事業所の負担を考慮した必要な経費の支給となっており、水準は妥当と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	一定の基準に基づき、ハローワークが必要と認める者に限定して実施している。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国が行う職業紹介や雇用対策と一体的に実施することにより高い実効性を確保
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	成果目標に対する達成度はほぼ横ばいである。
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績については見込みには届いていない。
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	障害者試行雇用奨励金は、本奨励金と異なり、障害者全般に対して原則週20時間以上の労働時間の試行雇用であることに対し、本事業は精神障害者及び発達障害者に限定して原則週20時間未満の労働時間の試行雇用であり、適切な役割分担となっている。
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	障害者試行雇用奨励金(厚生労働省・職業安定局)
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	精神障害者等に特化した制度であり、精神障害者等の障害特性を踏まえた事業ではあるものの、成果目標及び活動実績見込みに対する実績について更なる向上が必要。特に、成果目標については平成23年度の達成度が70%であることから、今後、目標達成に向けた取組が必要である。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	政策効果等を検証し廃止すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	他の助成金との整理・統合を行うことにより、本助成金を廃止。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	362	平成23年行政事業レビュー	328

※平成23年度実績を記入

国

厚生労働省
58百万円

〔 制度設計及び運用 〕



【予算示達額】
都道府県労働局(47局)
58百万円

〔 申請の受理、審査、支給 〕



A.事業主
364件
58百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.事業主			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金	事業主に対する助成金	58			
計		58	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.事業主

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	1.5	—	—
2	B	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	1.2	—	—
3	C	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	0.9	—	—
4	D	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	0.9	—	—
5	E	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	0.8	—	—
6	F	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	0.7	—	—
7	G	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	0.7	—	—
8	H	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	0.6	—	—
9	I	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	0.6	—	—
10	J	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金	0.6	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					